

05 耐沸騰水塗料



沸騰水中でも
15,000時間を
超える耐久性

沸騰水をものともせず素材を腐食から守ります。沸騰水中において密着性、耐食性に優れたタンク・ボイラー内面用塗料です。

ポイント
POINT

1

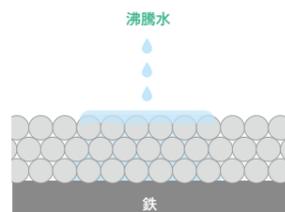
蒸気・沸騰水中で
抜群の耐食性

2

環境負荷6物質を
使わない
環境配慮型塗料

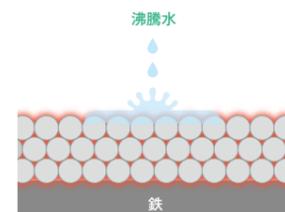
耐沸騰水塗料の耐食メカニズム

遮断効果による防食



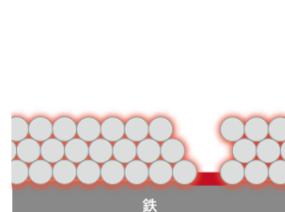
初期には塗膜が沸騰水や蒸気を遮断することで、素地を守りますが、一部は塗膜の隙間を通して素地まで到達します。

犠牲防食1



耐沸騰水塗料の電気化学的な犠牲防食作用により、錆の発生を防ぎます。

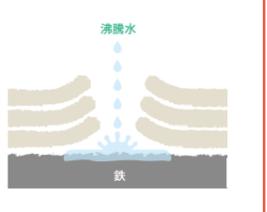
犠牲防食2



万一、塗膜が傷ついた場合にも、耐沸騰水塗料の防食作用により錆の広がりを防ぎます。

一般塗料の場合

水に温度が加わり発生するエネルギーで金属は腐食したり塗膜が破壊されたりします。耐沸騰水塗料はこのような条件下でも素材をしっかりガードします。



例えばこんなところでお役に立っています



船舶用タンクなど
高温になるタンク内面の腐食防止。



蒸気発生装置・
オートクレーブの内面
蒸気による内面腐食の防止。



温水循環システムの
配管や膨張タンク内面
蒸気配管や設備を腐食から守る。

耐沸騰水塗料 商品ラインナップ

商品ナンバー	耐熱温度(°C)	色	対応下塗	荷姿
耐沸騰水塗料 上下兼用型 FR-3 硬化剤付	120°C	グレー	上塗り下塗り 兼用できます	1kg・4kg・16kg
耐沸騰水塗料 上塗 FR-20 硬化剤付	120°C	白	FR-3	1kg・4kg・16kg

仕上がり色	商品名	商品 ナンバー	適応 素材	素地調整	調合 主剤・硬化剤 [可使時間]	塗装仕様										
						塗装方法	塗装 回数	標準膜厚 μm(DRY)	標準使用量 g/m ² /回	希釈剤	希釈率 wt%	塗装間隔 (20°C)	上塗りまでの 塗装間隔 (20°C)	乾燥 (20°C)		
グレー	耐 沸騰水 塗料	FR-3	鉄	1種 ケレン	85:15 [8時間]	刷毛塗り	4	250	1回目	100	122 シンナー	0~10	2時間 以上	-	7日以上	
						エアレス塗装	3	250	1回目	120	122 シンナー	20~30	2時間 以上	-	7日以上	
白	耐 沸騰水 塗料	下 塗	FR-3	鉄	1種 ケレン	85:15 [8時間]	刷毛塗り	3	125	1回目	100	122 シンナー	0~10	2時間 以上	16時間 以上 12日以内	-
							エアレス塗装	2	125	1回目	120	122 シンナー	20~30	2時間 以上	16時間 以上 12日以内	-
		上 塗	FR-20	刷毛塗り	2	125	1・2回目	250	122 シンナー	0~10	2時間 以上	-	7日以上			
				エアレス塗装	1	125	1回目	650	122 シンナー	20~30	-	-	7日以上			



塗装における
注意事項

- 塗膜表面に硬化剤成分が析出し、温水中に臭気がある場合がありますので、3回以上洗浄してください。
- 降雨、降雪、結露の恐れがある場合、及び、気温5°C以下、湿度85%以上の環境では、施工を避けてください。
- 屋外での施工は強風時を避けて行ってください。
- 耐熱塗料を刷毛塗りで塗装する場合は、刷毛返しを少なくして棒塗りを行い、ブリード(にじみ)を少なくする等の対応をしてください。



使用上の
注意事項

- 引火性の有機溶剤を含んでいますので、火気のあるところでは使用しないでください。塗装中、乾燥中は換気を良くし蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、直接皮膚に触れないようにし、必要な保護具を着用してください。取扱後は手洗い・うがいを十分にしてください。
- 目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は多量の水で洗い落とし、痛みや外観に変化がある時には医師の診察を受けてください。
- 蒸気を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、粉末消火器を用いてください。
- その他詳細については安全データシート(SDS)をご参照ください。